2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ　　上場取引所　東
コード番号　4360　URL https://mcps.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 杉之原　祥二
問合せ先責任者　(役職名) 取締役グループ財務戦略室長　(氏名) 吉田　誠吾　TEL 03-5931-0554

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年11月25日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	6,015	3.6	665	47.0	696	38.4	583	25.6
2026年3月期中間期	5,804	29.2	452	—	503	—	465	—

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　841百万円　(51.4%)　2026年3月期中間期　555百万円　(—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	71.31	—
2026年3月期中間期	57.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	16,252	12,139	74.7
2026年3月期	15,303	11,301	73.9

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　12,139百万円　2026年3月期　11,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
2027年3月期	—	7.50			
2027年3月期(予想)			—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	13.7	1,100	48.8	1,250	51.5	950	21.6	115.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	8,625,000 株	2026年3月期	8,625,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	380,900 株	2026年3月期	450,860 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	8,189,796 株	2026年3月期中間期	8,120,272 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P．3「1．経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等を背景として、緩やかな回復基調で推移しております。一方、物価上昇の継続や人手不足、金融資本市場の変動、海外経済の動向など、景気の先行きには不透明な要因が残っております。

このような環境の下で当社グループは、既存顧客との取引拡大や新規案件の獲得、採算性の確保に向けた取組みを継続してまいりました。医薬中間体及び原薬の需要増加に加え、半導体関連製品等の新規開発品の量産立ち上げや海外向け販売が業績に寄与し、売上高及び各利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は6,015百万円（前年同期比＋210百万円、3.6%増）、営業利益は665百万円（前年同期比＋212百万円、47.0%増）、経常利益は696百万円（前年同期比＋193百万円、38.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は583百万円（前年同期比＋118百万円、25.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、医薬分野では医薬中間体及び原薬の需要が増加しました。電子材料分野では、一般化成品の需要が堅調に推移したほか、半導体関連製品等の新規開発品の量産立ち上げが進みました。また、海外向け一般化成品のスポット案件についても、第１四半期に続き第２四半期に販売がありました。これらの要因により、売上高及び利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、売上高は2,940百万円（前年同期比＋83百万円、2.9%増）、セグメント利益は775百万円（同＋73百万円、10.5%増）となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、一部製品では最終製品の在庫調整の影響により需要が低迷したものの、足元の販売は堅調に推移しております。また、電子材料部材や家電製品等に使用されるプラスチック用難燃剤では、一定の需要が継続いたしました。こうした需要動向に加え、事業環境に応じた販売単価の見直しや海外向け販売の増加が寄与し、売上高及び利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、売上高は2,357百万円（前年同期比＋124百万円、5.6%増）、セグメント利益は430百万円（同＋191百万円、79.8%増）となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、主力である人工透析用薬剤の原料の需要が安定的に推移いたしました。また、一部製品について、事業環境に応じた販売単価の見直しを継続したことにより採算性が改善いたしました。

その結果、売上高は717百万円（前年同期比＋2百万円、0.4%増）、セグメント利益は82百万円（同＋20百万円、34.0%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて949百万円増加し、16,252百万円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価額及び売上債権が増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて112百万円増加し、4,113百万円となりました。これは主に、原材料仕入等に伴う買掛金が増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて838百万円増加し、12,139百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当中間期までの業績動向及び足元の事業環境を踏まえ、売上高予想を上方修正するとともに、利益面についても合理的な算定が可能となったことから、各利益の予想を新たに公表いたします。詳細は、本日公表の「2027年３月期　通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,008	4,193
受取手形及び売掛金	1,804	2,080
電子記録債権	464	448
商品及び製品	2,112	1,934
仕掛品	442	685
原材料及び貯蔵品	776	766
その他	114	123
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	9,721	10,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	663	1,687
機械装置及び運搬具（純額）	675	716
土地	690	690
建設仮勘定	1,166	83
その他（純額）	170	269
有形固定資産合計	3,366	3,446
無形固定資産	116	98
投資その他の資産		
投資有価証券	1,809	2,189
繰延税金資産	221	214
その他	68	74
投資その他の資産合計	2,099	2,478
固定資産合計	5,582	6,024
資産合計	15,303	16,252

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,450	1,583
電子記録債務	83	52
１年内返済予定の長期借入金	100	100
未払法人税等	200	125
賞与引当金	230	232
その他	826	847
流動負債合計	2,891	2,941
固定負債		
長期借入金	716	666
退職給付に係る負債	124	124
繰延税金負債	255	368
その他	13	12
固定負債合計	1,110	1,171
負債合計	4,001	4,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	3,438	3,444
利益剰余金	7,213	7,736
自己株式	△327	△276
株主資本合計	10,624	11,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	646	900
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	30	33
その他の包括利益累計額合計	676	934
非支配株主持分	0	0
純資産合計	11,301	12,139
負債純資産合計	15,303	16,252

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,804	6,015
売上原価	4,469	4,271
売上総利益	1,334	1,743
販売費及び一般管理費	881	1,078
営業利益	452	665
営業外収益		
受取利息及び配当金	35	42
その他	20	6
営業外収益合計	56	48
営業外費用		
支払利息	0	5
為替差損	4	11
その他	0	0
営業外費用合計	5	17
経常利益	503	696
特別利益		
関係会社株式売却益	74	－
固定資産売却益	10	－
特別利益合計	85	－
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前中間純利益	588	696
法人税、住民税及び事業税	95	110
法人税等調整額	28	2
法人税等合計	123	112
中間純利益	465	584
非支配株主に帰属する中間純利益	－	0
親会社株主に帰属する中間純利益	465	583

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	465	584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	253
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	1	2
その他の包括利益合計	90	257
中間包括利益	555	841
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	555	841
非支配株主に係る中間包括利益	－	0

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	588	696
減価償却費	171	217
賞与引当金の増減額（△は減少）	△15	2
受取利息及び受取配当金	△35	△42
支払利息	0	5
関係会社株式売却損益（△は益）	△74	－
有形固定資産除売却損益（△は益）	△9	0
売上債権の増減額（△は増加）	△309	△259
棚卸資産の増減額（△は増加）	225	△53
仕入債務の増減額（△は減少）	472	116
その他	0	24
小計	1,013	707
利息及び配当金の受取額	35	42
利息の支払額	△0	△5
法人税等の支払額	△56	△181
営業活動によるキャッシュ・フロー	991	563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△835	△251
有形固定資産の売却による収入	12	－
投資有価証券の取得による支出	－	△9
関係会社株式の売却による収入	142	－
その他	1	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△678	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	－
自己株式の取得による支出	－	△0
長期借入金の返済による支出	△4	△50
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4	△3
配当金の支払額	△40	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	450	△115
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	766	185
現金及び現金同等物の期首残高	2,767	4,008
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,533	4,193

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,857	2,232	714	5,804
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	2,857	2,232	714	5,804
セグメント利益	701	239	61	1,002

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,002
全社費用（注）	△549
中間連結損益計算書の営業利益	452

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,940	2,357	717	6,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	2,940	2,357	717	6,015
セグメント利益	775	430	82	1,287

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,287
全社費用（注）	△622
中間連結損益計算書の営業利益	665

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

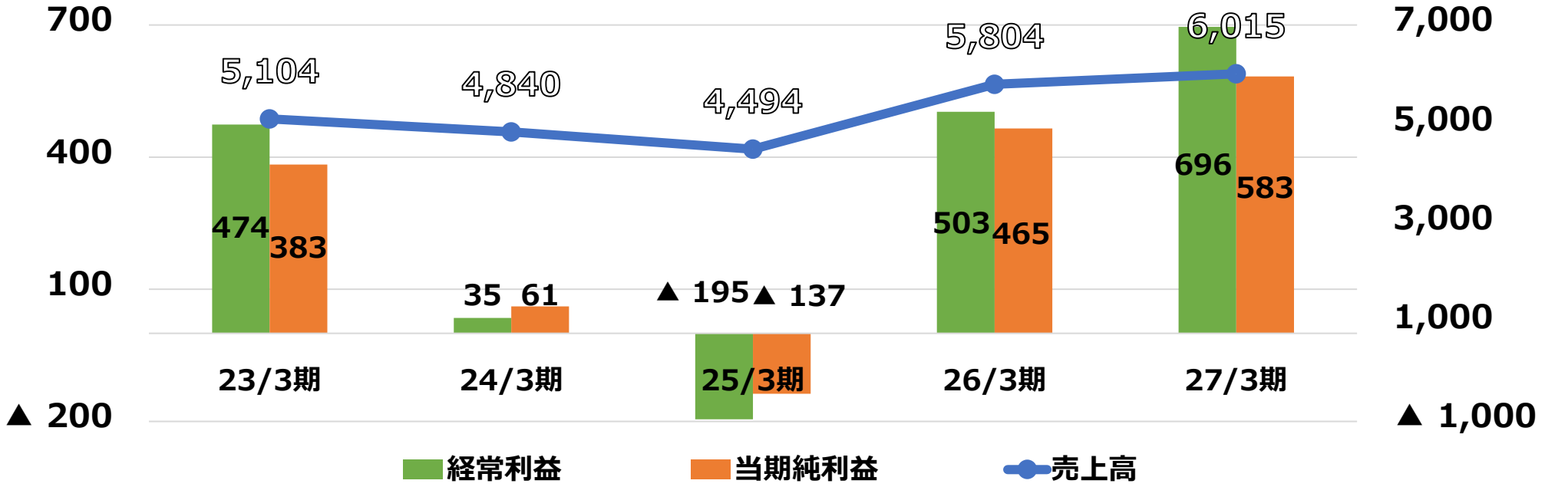
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

2027年3月期第2四半期（中間期）の業績状況（連結）

第2四半期（中間期）の業績推移（連結）



当中間期は、ファインケミカル事業では、**医薬中間体及び原薬の需要増加**や**半導体関連製品等の新規開発品の量産立ち上げ**が業績に寄与しました。難燃剤事業では、主力製品で一定の需要が継続したほか、事業環境に応じた販売単価の見直しと海外販売の増加もあり、**両事業とも増収増益**となりました。

これらの業績動向を踏まえ、通期業績予想を見直し、各利益の予想を新たに公表いたしました。**売上高及び利益については、いずれもこれまでの最高実績を上回る見込み**です。今後も事業環境の変化に適切に対応するとともに、ファインケミカル事業を中心に新規案件の開拓や新規開発品の事業化を着実に進めてまいります。

事業投資の進捗状況

投資分野 **ファインケミカル事業**





微量金属分析装置（上）を設置した新事務所棟（下）

マナック株式会社（MCPsの100%連結子会社）

当社事業子会社のマナック株式会社では、**金属不純物管理技術の向上**および**ヨウ素化合物**を中心とした**半導体関連製品の受託開発拡大**を目的とし、福山工場（広島県福山市）にて**微量金属分析装置**を設置しました。当該装置の運用を通じ、次世代半導体向け製品を中心とした新製品開発を加速させてまいります。

現在、稼働開始に向けて操作の習熟を進めており、2027年3月期中に各設備の運用を順次開始する予定です。